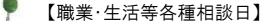
【人権相談日】

4月17日(月) 5月15日(月)

13:30~15:00

館職員が対応します。

お気軽にご来館ください。



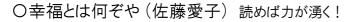
4月19日(水) 5月17日(水)

13:30~15:30

近藤相談員が対応します。

諸事情で開催日を変更する場合がありますので お問合せください。

新しい図書のご案内



○運転者 未来を変える過去からの使者 (喜多川泰) 報われない努力なんてない!

○バカと無知 (橘 玲) 「きれいごと」には、ウソがある!

○ぼけの壁 (和田秀樹)「ぼけたら不幸」は思い込み!

○人生に、上下も勝ち負けもありません (野村総一郎) 焦り、落ち込み、不安がどうでもよくなる!

○変な家1 (雨穴) 国民的スケッチ・ミステリー!

〇お金の大学(両@リベ大学長)-生お金に困らない5つのカ!

○小さなひとり暮らしのものがたり (みつはしちかこ) 80代、ひとり暮らしがいい!

○発達障害の人が見ている世界 (岩瀬利郎) ともに生きるのが楽になる!

○認知症世界の歩き方(筧 裕介)身体と心のふしぎがすご一くわかる!

○今すぐ旅に出たくなる!地球の歩き方のことばと絶景100 旅の名言&絶景!

○脳がぐんぐん冴えてくるドクターズドリル (石川久) 2週間であなたの脳がする!

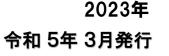


どうぞ、ご利用ください!





北星会館だより







住所 〒799-1341 西条市壬生川682 電話·FAX 0898-64-0321

E-mail hokuseikaikan@saijo-city.jp

人権啓発学習会を今年度も各教室や利用団体ごとに行いました。内容は「あなたには無意識の 偏見(アンコンシャス・バイアス)がありませんか」です。

人はだれでも、いろいろな場面で相手に賛成したり反対したりします。賛成する人も反対する人も、それはその人の過去の経験や知識、価値観、信念の違いから脳が瞬時に判断しています。その時、反対の意見の人に対して、眉間にしわをよせたり、目を合わさなかったり、意見を取り上げなかったり、「〇〇が常識だろう」などと言ったりすることが「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)」です。その結果、相手は傷ついたり、ストレスを感じたりします。

初めに自分が教わった知識は、間違った知識であっても なかなか変えることができません。それは心の中に次のような 思いがあるからかもしれません。

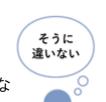
- ①危険が迫っても、自分だけは大丈夫という思い
- ②悪いことでも、みんながやっているから大丈夫という思い
- ③自分の好きな人の言うことや態度は、間違っていても正しいという思い
- ④「女性というものは」「高齢者は」「〇〇人は」など、グループで人の善悪を決めつける思い
- ⑤有名な医師や有名大学の教授が言っているのだから正しいという思い そういう思い込みが相手に対する偏見を生み出しているのです。

無意識の偏見をなくすためには、お互いの言動がアンコンシャス・バイアス(アンコン)の言い方になっていないか気をつけることが大切です。自分の考えと違う人がいるという視点を持ち、その人たちの話も共感的に聴く力を持ちましょう。そして、良いところは認めましょう。「みんなちがって、みんないい」世の中にするために、無意識の偏見のないだれもが住みよい町にしていきましょう。

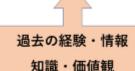












壬生川小学校 人権·同和教育校内研修会

2月1日(水)に壬生川小学校で研修会がありました。6年松組の授業参観と校内研修です。 教科は道徳で「山の粥」という資料をもとに、「人としての生き方を考えよう」という主題で差別 をしない、させない、許さない心情や態度を高めていく学習でした。

子どもたちはこの学習を通して、差別されたのだから百姓を助けないというところから、差別は

許さないけれど、人として困っている人は助けなければいけないという心情に変わっていきました。子どもたちがこの道徳の学習を通して、差別や命の大切さについて真剣に考え、発表していたことが素晴らしいと思いながら授業を見させていただきました。



研究協議では、壬生川小学校の人権・同

和教育への取組の説明がありました。学校全体で取り組むための目標や年間の計画が立てられていて、差別を許さないたくましい子どもたちが育っていました。

遠足~ウォークラリーで各チェックポイント巡り~

3月7日(火) 1年生と6年生がグループになって、北星会館にもやって来ました。チェック項目は『北星会館に図書室はある。〇か×か』です。お天気もよく、楽しんでいる声が聞こえていました。









避難訓練を行いました

2月21日(火)避難訓練と消火訓練を、いきいき笑楽会の皆さんたちと行いました。







ピンを抜く、ノズルを持つ、距離をとる、レバーを押する

・ 令和2年4月から北星会館の館長を務めさせていただきましたが、この3月をもちまして ***
退任することになりました。着任した時にはコロナ感染が拡がりはじめ、会館の活動が制限され **
る中でした。私は教員以外の仕事をしたことがなかったのですが、皆様が会館の活動にご支援、**



ご協力いただいたことにより、なんとか活動を維持することができました。 **
ありがとうございました。 今後もここで出会った皆様や学んだことを忘れず、 **
差別のない社会づくりに努めていきたいと思います。 **

西森 学

令和4年度 壬牛川小学校児童の人権作文(詩)と人権標語



(令和4年度 西条市の人権意識を高めるための作品集より)

いつしよ 6年 柳原雛愛

はだの色がちがう

生きる場所がちがう

かみの色がちがう

でも みんな いっしょの人間

みんな友達 みんな家族

「みんな いっしょ」



大切なもの 6年 片岡美結

大切なものそれは 家族それは 友達それは 先生

みんな大切だよ みんなやさしく

「ありがとう」「大丈夫」

と言ってくれる

そんなみんなが 私は大好きだ

人権標語

O みんなのえがおで ぼくのきもちも ほっかほか

1年 木村 一之丞

○ たすけるよ こまったときは ぼくがいる

2年 久米 逢太

○ 手をとり合い 心をよせる 友がいる

3年 越智 葵

○ 勇気の一歩 みんな歩幅はちがうけど 一歩一歩を大切に 4年 松本 心結

○ 個性と個性 みとめ合えれば 皆が笑顔

5年 濱田 実知

○ SNS 書いた言葉 取り消せない

6年 加茂 柊耶





